

1. グリーン・ツーリズムの取り組みに係る支援

1) 事業者向けセミナーの開催

(1) 開催概要

○開催内容

G T事業者や中間支援組織等の関連団体、自治体のG T担当部局等を対象として、消費者のマーケティングデータや、2010年度に実施した『一般旅行者を対象としたグリーン・ツーリズム「エントリーモデル開発」と「宿泊プラン化を意識した流通促進」実証事業』（グリーンツーリズムエントリーモデル開発推進協議会）の実証結果等に基づき、G T未経験者向けのプラン開発の意義等を啓発するセミナーを開催した。

なお、セミナーは、「事業者向け研修会」のプログラムの一部として開催した。

○開催概要

<開催日・開催時間>

- ・仙台会場：2013年9月26日（木） 11：05～12：10
- ・熊本会場：2013年10月1日（火） 11：05～12：10
- ・東京会場：2013年10月4日（金） 11：05～12：10

<参加人数>※再掲

- ・仙台会場：64名
- ・熊本会場：77名
- ・東京会場：75名

<全体テーマ>

- ・グリーン・ツーリズムエントリーモデルの必要性と造成のポイント

<講師・個別講義テーマ>

- ・3会場共通：横山 幸代氏（株式会社リクルートライフスタイル ジャらんリサーチセンター 副センター長）
「旅のついでに気軽に参加できるG Tエントリーモデル開発事業」
- ・仙台会場：小林 崇 氏（日本都市ホテル開発株式会社 ベストウエスタンホテル仙台 支配人代理）
仲野 大輔 氏（有限会社仲野観光果樹園 取締役専務）
「成功事例に学ぶ、宿泊事業者とG T事業者の連携」

- ・熊本会場 : 松元 健蔵 氏 (フェニックスリゾート株式会社 アクティビティ部 部長、みやざきグリーンツーリズム研究会 事務局長、宮崎県観光審議会 委員)
「観光地域とその周辺地域 (農山漁村) との連携」
- ・東京会場 : 大越 未来 氏 (稲取温泉観光合同会社事務局)
「伊豆稲取温泉グリーンツーリズムの仕組み」

■講師講演資料 横山氏<3会場共通>

都市農村共生・対流総合対策交付金共生・対流促進計画
「グリーン・ツーリズムの推進 & ネットワーク構築事業」
 旅のついでに気軽に参加できる
グリーンツーリズム・エントリーモデル開発事業
 株式会社リクルート ライフスタイル
 じゃらんリサーチセンター
 副センター長 横山幸代

【目次】

1. じゃらんリサーチセンターについて
 - ・国内旅行情報サービス「じゃらん」について
 - ・じゃらんリサーチセンター (JRC) について
2. 旅行者に求められている「グリーンツーリズム」とは？
 - ・「グリーンツーリズムに対する消費者意識調査」より
3. 観光連携事例から学ぶ
「グリーンツーリズム課題解決」のポイント
4. 終わりに

1. じゃらんリサーチセンターについて

- ・国内旅行情報サービス「じゃらん」について
- ・じゃらんリサーチセンター(JRC)について

1. 国内旅行情報サービス「じゃらん」について

じゃらんnet

国内 2.2万軒
155万プラン
6,107万泊/年
1日17万泊

北海道じゃらん
関東・東北じゃらん
九州じゃらん
関西・中国じゃらん
東海じゃらん

全国で、毎月 約70万部 発行する旅行媒体です。

じゃらんリサーチセンターについて

消費者と地域の出会いを支援し、笑顔あふれる世の中に。
 H 24 農水省支援事業
[グリーンツーリズムエントリーモデル推進協議会]担当

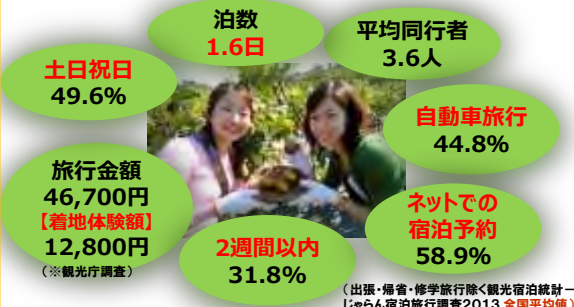
調査	実証実験	地域集客支援	情報発信
じゃらん宿泊旅行調査 インバウンド調査 ご当地調査 若者の国内旅行実態調査 人気温泉地ランキング	需要創造型テーマや、 課題解決型テーマに関して のフィールドワーク	・観光振興計画支援 ・観光資源の調査を 元にしたPR戦略支援 ・観光資源の発掘・ 魅力づけ支援 など	とーりまかし 観光会議きゅうしゅう 観光会議ほつぷら 観光会議とうほく セミナー・勉強会の開催

2. 旅行者に求められている
「グリーンツーリズム」とは？

「グリーンツーリズムに対する消費者調査」より
 (H23年7月 グリーンツーリズムエントリーモデル協議会 調べ)

2-1. 国内旅行市場について

- 1年間に実施されているレジャー国内宿泊旅行は**2.3億泊**。
- 旅の目的は“風呂・めし・観る”。『各種体験』目的は**1.4%**
- GT体験平均金額は5,000円～15,000円に7割集中。



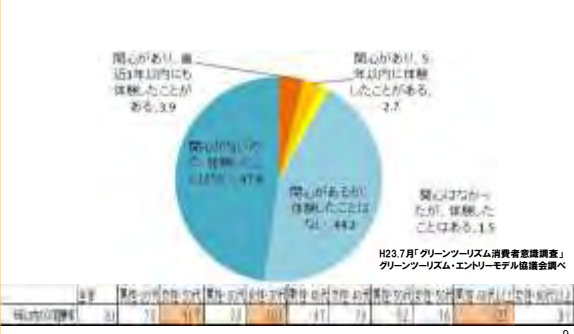
2-2. 新しい旅の目的

地域らしさをより味わいたい旅行者が存在。

項目別	意識した計	意識-実施
① 事前(出発前)に立ち寄り先などの計画をたてる	78.3	14.7
② 費用をできるだけ抑える	70.5	22.3
③ 見学・見物など見て楽しむ	69.3	12.6
④ 時間的に効率的な旅行行程や行動をとる	67.2	19.4
⑤ 旅先での旅行行動(飲食や体験プログラム等)は現地で決める	66.2	18.8
⑥ 地域らしさを感じられるものを選ぶ	61.6	16.4
⑦ 有名でなくても、自分なりにこだわったものを選ぶ	58.3	17.9
⑧ 一度も行ったことがない宿や飲食店を選ぶ	58.1	17.5
⑨ 重視していることに集中的にお金をかけ、他の出費を抑える	57.1	19.5
⑩ なるべく色々な場所をたくさん回る	54.2	20.0
⑪ 1ヶ所ですっぴり過ごす	51.9	19.1
⑫ 旅先での予期せぬ出来事を楽しむ	51.9	23.8
⑬ 老舗・歴史のあるものを選ぶ	50.9	18.8
⑭ 洗練された感じのものを選ぶ	46.0	20.8
⑮ テレビや雑誌で人気、有名なものを選ぶ	41.8	19.7
⑯ 人に勧められたものを選ぶ	41.1	19.5
⑰ 地元の人に積極的に話しかけて情報を聞いたり交流する	36.8	19.0
⑱ ネットになりそうなのに挑戦する	36.8	18.2
⑲ 地域のためになること、貢献できることを選ぶ	36.2	20.8
⑳ 地域に根ざした生活体験をしてみる	32.1	19.3
㉑ 将来のライフスタイルの参考にするために、地域の人と触れ合う旅行をする	27.7	15.5
㉒ 将来の移住先の参考にするために旅行先を選ぶ	23.7	14.0

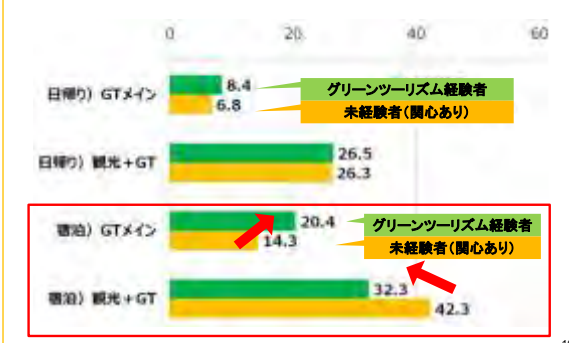
2-3. グリーンツーリズム経験率(18歳以降)

「5年以内のGT体験者」は8%。非体験者のうち約半数が「GTに関心があるが、体験したことはない」と回答している



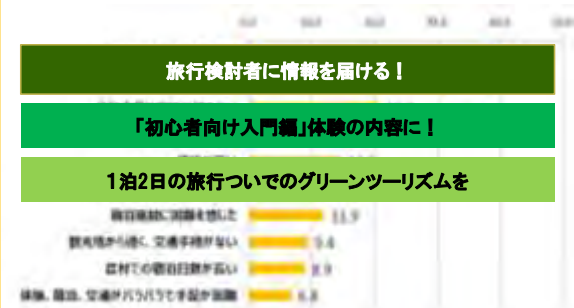
2-4. 希望する形態

「GT体験者」は、グリーンツーリズム目的の農村泊希望者が多いが、「はじめてさん」は、観光+グリーンツーリズムを希望。



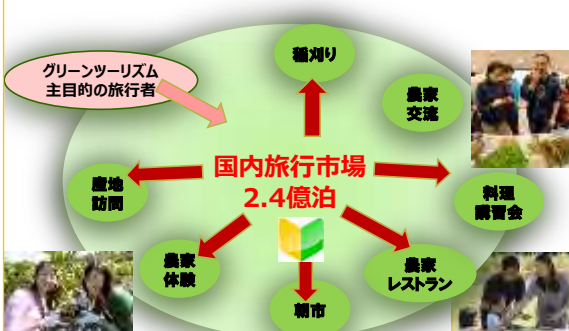
2-5. 消費者側の課題

未経験者に対する、旅行についてのGT推進が必要。より「気軽に安心」、「旅行予約のついでに情報が手に入る」、「1泊2日の旅に組込みやすい体験」提供を目指します。



2-6. グリーンツーリズムの可能性

旅行ついでに楽しめる体験プログラムを市場に提供することで、需要を増やしていくことが可能。



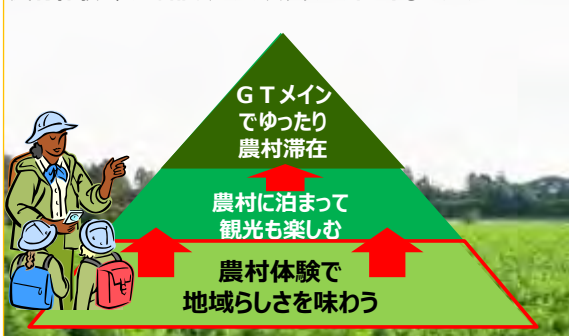
2-8. GT未経験者と経験者の間に流れる深い河

経験者と未経験者の意識の違いは**かなり**大きい。まずは、未経験者に1回体験をさせるエントリーモデルが必要



2-8. グリーンツーリズムの素晴らしさを伝える方法

初回いきなり、飛び込みにくいグリーンツーリズム。農村体験ファンを創るためのステップの設計も必要。



3. 観光連携事例から学ぶ 「グリーンツーリズム課題解決」のポイント

15

3-1. グリーンツーリズム「観光商品化」の課題

個人客8割、旅行ついでの人を対象にすると課題が大きい

4つの課題	提供側	参加者側
1.流通が難しい	1泊2日旅行に組込んで解決	
2.気候変動で内容が決めづらい	地域連携で解決	
3.日程が事前に決めにくい	宿泊予約時に体験予約で解決	
4.多人数は受入れられない	2人でも受入可能な設定に!	

16

1.宿泊プラン化して流通 3.事前予約

【ポイント】
農村体験の宿泊プラン化による流通事例

ヒスイ海岸で開運石探し＆漁師のタラ汁ランチ付き
源泉掛流し温泉宿で1泊2食+ふるさと体験1名16800円

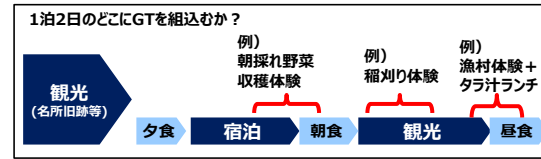


17

【事例】富山県 朝日海岸 ホテルおがわ

①1泊2日の旅行に組込める短時間の体験に

- 昼食ついでに「2時間」程度の体験時間
- ホテルから無料送迎付きという気軽さ



② GT体験を宿泊予約サイトで販売・事前予約管理可能に

- 宿泊予約時に、体験予約も確定
- 天候が悪かった場合は室内でできることに変更

③ストーリー性で付加価値アップ!

- 体験に「食事」の魅力プラス!

18

2.地域連携して解決

【ポイント】
地域連携による気候変動/天候リスクへの対応


有機農業を学ぶ「食から始めるエコ講座&農場プランチ」
宿泊プラン1名15000円/体験&農場プランチ3500円



19

事例) リピートを促すための「1泊2日×複数回」を狙うプラン例。
東京から日帰り圏内のエリアでも宿泊させることも可能なプラン。

ホテル泊(1泊朝食付)	【有機にんじん収穫&農場プランチプラン】 1泊2食+体験(ランチ含む) ・11:00ホテル集合 →農場へ送迎 ・11:30 有機野菜 収穫体験(さつまいも) ・12:30 農場プランチ(野菜バーベキュー) ・13:30 有機野菜 収穫体験(にんじん、大根) ・14:00 ホテル着 チェックイン後フリータイム ・18:00～夕食を楽しみながら、 「食から始めるエコ講座 ～地球に優しい有機野菜とは」 ・翌日～フリータイム(朝食後11:00チェックアウト)
農業体験&ランチ	
関連講座&ディナー	



20

【参考】千葉県 成田市

①地域の農業連携

- ・気候により、収穫できるものが異なる場合は、連携している別の農家で受入れ
- ・天候が悪ければ、ハウス農家へ受入れ要請

② 体験よりも知的好奇心をくすぐる体験を!

- ・取り放題、食べ放題は、誰も喜ばない?
- ・司会が一人いれば、農家はエンターテイナー

③ 観光協会に、農家も参加

- ・宿泊受入れは“餅は餅屋”へ。
農家は体験受入れのみでも、同売上額も可能。
- ・観光団体と農家を繋ぐ連携組織を創る




21

4.少人数を日常に受入れる


【ポイント】
特別なイベントにせず、少人数なら日常で受入れる
「ミニほっとステイ」2時間 1600円-前日まで予約可


※ 2人でも、前日でも受入れ可能な設定に…
→内容検討(脱イベント型)/価格検討(高くなってもOK)



(写真一部情報は信州せいしゅん村より)


22

【参考】長野県 上田市事例 




- ① 短時間、少人数受入れ個所を複数化
 - ・構えず、空いている時間に、その時にやっていることを、そのまま実施
- ② 構えず、ありのまま。特別イベント化をしない
 - ・生きがいとやりがいを生む。
 - ・無理をしないこと、楽しむことが継続のコツ
 - ・プログラムを創らない。
 - ・村で自由にぶらぶらしてもらうのも観光の一つ
- ③ 村全体が資源。地域の楽しみ方を情報提供
 - ・栗林で栗ひろい、川でおよぐ…地図を渡すだけ。
 - ・情報だけ提供し、自由に過ごしてもらう

23

【最後に】 

**旅行のついでに体験できる『エントリーモデル』開発で
グリーンツーリズムの裾野拡大を目指します！**





国内旅行2.3億人泊に向け、
農村での豊かな体験を提供することで、
本格的なグリーンツーリズムの
ファンを増やしていくことを目指します。
情報提供、ご指導ご鞭撻の程をお願いします。



24

■講師講演資料 小林氏、中野氏<仙台>

**グリーン・ツーリズム
「成功事例に学ぶ、宿泊事業者と
グリーン・ツーリズム事業者の連携」**


ベストウェスタンホテル仙台
 ×
仲野観光果樹園 

ベストウェスタンホテル仙台・支配人代理・小林崇様
 仲野観光果樹園・専務取締役・仲野大輔様

<http://www.youtube.com/watch?v=TIZQlvsYo6Q>

夜景一望



施設・設備


 バルコニー


 フィットネスクラブ


 ダブルベッドルーム


 レストラン(六丁目農園)

プラン


 かぶと虫狩り


 さくらんぼ狩り


 仙台ヒルズゴルフクラブ


 パラグライダープラン

仲野観光果樹園



さくらんぼ狩り、モモ狩り、ぶどう狩り、リンゴ狩り、芋煮会など季節のグリーン・ツーリズムメニューを提供

<http://www.nakanofruit.com/>

仲野観光果樹園


 さくらんぼ狩り


 もも狩り

仲野観光果樹園


 ぶどう狩り


 いも煮会


 フルーツバイキング